

2025年度 ニチイキッズ新前橋駅前保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

| 評価方法 | | |
|----------------|------|--|
| 保育士等（全職員）の自己評価 | 評価期間 | 2026年1月5日（月）～1月30日（金） |
| | 実施方法 | 全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。 |
| 保育施設の評価 | 評価日 | 2026年2月5日（木） |
| | 実施方法 | 話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。 |

| 項目ごとの評価 | |
|-------------|---|
| 保育理念 | ニチイの保育理念は何か、常に向き合い、研修のほか会議やミーティングを行い、意見が交わせる環境作りを大切に、保育内容の向上に努め、保育者自ら思いっきりあそび、学び、「思いっきり」保育に繋がるように努めた。 |
| 子どもの発達援助 | 年齢別による成長発達を理解し、繰り返し学び直すことに努めた。子ども一人一人の発達を受けとめる。子どもとの関りを十分に持つ中で信頼関係を築き、余裕のある見通しを持った保育を行っていききたい。 |
| 保護者に対する支援 | 子どもの様子、家庭環境を十分把握した上で、家庭と共通認識の中で、園全体で発達支援を行ってきた。園の様子に触れる機会を少しずつ設けるとともに、保護者の気持ちに寄り添い代弁しながら支援していききたい。 |
| 保育を支える組織的基盤 | 子どもに背を向けず、職員配置を意識した関りをし、安心安全保育に努めた。職員間では対話を活発に行い、保育の質の向上を目指し、学び合える環境を作りを行った。繰り返し訓練を経験することで、危機が起きた時に適切に行動できるように備えておく。また、不適切保育のないよう、保育の振り返りを日々行いより良い保育ができる環境作りをしていききたい。 |

| 総評 |
|--|
| 設定された会議やミーティングの他、繰り返しの訓練や日ごろの職員間での対話の中で、現状に満足することなく改善したり、他の職員から学んだりする姿勢を持ち、保育の向上、環境整備につなげていく。子どもが安心して過ごせるように、一人ひとりの子どもの発達や様子、個性を理解し、信頼関係を築いたうえで、子ども、保護者に寄り添った保育が出来るよう意識していく。保育者が余裕を持ち、大人の都合で保育を進めることなく、子ども主体の保育することに繋げていく。「子ども主体」というものをどのように進めていくか全員が同じ意識を持ち、協力し合い、同じ反省や課題を繰り返すことのないようにする。 |